

## 令和4年度南丹市一般会計・特別会計歳入歳出決算の概要

### 令和4年度決算 一般会計の概要

**歳入** 246億7,981万3,326円  
**歳出** 236億3,269万1,058円

令和5年南丹市議会9月定例会で認定されました、『令和4年度南丹市一般会計・特別会計歳入歳出決算』の概要についてお知らせします。

令和4年度一般会計決算は、市に入ったお金(歳入)の総額が246億7,981万3,326円、使ったお金(歳出)の総額が236億3,269万1,058円となりました。歳入歳出差引額は、10億4,712万2,268円となり、このうち翌年度へ繰り越すべき財源1億8,521万4,000円を差し引いた実質収支額は、8億6,190万8,268円の黒字決算となりました。

ただし、その歳入には、前年度からの繰越金10億3,792万5,371円が含まれています。

歳入で一番多いのは、標準的な行政サービスを行うために交付される「地方交付税」が、100億2,484万8,000円、歳入全体の40.6%を占めています。続いて、市民税や固定資産税などの「市税」で42億577万2,276円(17.0%)、特定の事業実施のために国から交付される「国庫支出金」で32億6,684万4,712円(13.2%)の順となっています。

歳出は、子育て環境の充実に向けた取組や、新型コロナウイルス感染症対策として生活と暮らしの支援を行った「民生費」が69億9,467万2,503円と最も多く、歳出全体の29.6%を占めています。続いて「総務費」が43億5,063万6,951円(18.4%)、「公債費」34億5,259万7,052円(14.6%)「土木費」22億6,763万4,427円(9.6%)となっています。

そのほか、5特別会計(企業会計は除く)について、すべて黒字決算を維持しております。

令和4年度においては、子育て環境の充実に向けた取組のほか、安全・安心な学校教育環境の整備にも取り組み、学習活動の充実を進めてまいりました。また、原油価格・物価高騰及び新型コロナウイルス感染症により日常生活に影響を受けている子育て世帯・高齢者世帯・運送事業者等・耕種農家や畜産農家等に対して市独自の支援を意欲的に取り組んだ結果を反映したものとなっております。

一方で、市民税等の減収の中で、子育てから高齢者まで幅広く生活を支える社会保障関係費や長期借入市債に係る償還金も多く、大変厳しい財政状況となっております。

このように厳しい財政状況の中ではありますが、様々な行政課題や大型事業への対応など、市民の皆さんの要請に応えるべく、「南丹市をもっと元気に、地域の個性を生かし希望あるまちづくり」の実現に向け、施策・事業推進に総力を挙げてまちづくりを進めてまいりました。